



さんが

第一二二三号

令和 六年

西暦 二〇二四年

秋 彼岸 九月 号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三一-五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

この夏の暑さは、みなさまもこたえたのではないでしょう。テレビでも連日、「危険な暑さ」と言われています。私も、熱中症にこそなりませんでしたが、その危なさを初めて感じました。

暑さだけではなく、南海トラフ注意情報が出る地震が起きたり、大きな台風十号が迷走したりと、あらためて、自然の恐ろしさを目にしました。

こういうとき、私たちは「自然には勝てない」とよく思います。私たちの力が、まったく及ばないものがある、と実感するわけです。

私たちは意識せずとも、「自分の力が及ぶもの」と、「及ばないもの」を分けて、それぞれに対応をしています。対応の仕方は、みなさまご自身の、人生の経験によるものでしょうか。わかりやすいところで言うと、この夏の暑さ、高い気温そのものは、私たちの力の及ぶものではありません。ですが、エアコンを上手く使ったりすることは、力が及んでいるところです。

おそらく難しいのは、その「力が及ぶこと」と、「力が及ばないこと」の、境目の判断であろうと思います。私たちは、その区別について、成功したり失敗したりを繰り返しながら、暮らしています。

お釈迦さまは、力が及ばないことを、思い通りに変えようとするところに、私たちの苦しみ、不幸があると見抜かれました。

心満ち足りて、幸せに暮らすためには、その区別の境目がどこにあるのか、探す必要があるようです。



秋のお彼岸法要

23日午前10時からです

(秋分の日ではありません)

9月23日(月曜日・秋分の日)の振替休日)

いつものようにお勤めいたします。

お彼岸にあたり、ご先祖さまに思いを馳せる

お時間を、ぜひお寺にてお過ごしください。

団参行ってきます

ご案内しておりました、大本山總持寺への団参に、間もなく行ってまいります。

今回は遠忌の団参ということもあってか、お申し込みが殺到し、六月末の締め切り日をもって、募集を終了することになりました。その後、ご希望のご連絡をいただいても、やむなくお断りせざるを得ない事態も起きてしまいました。誠に申し訳ございませんでした。

来年以降はふつうの団参に戻ります。またご案内いたしますので、ご参加をお待ちしております。

忘れものお預かりしております

いずれも、このお盆中のお忘れものです。お心当たりの方、ご連絡くださいませ。



花柄の、黄色い日傘



ムーミンの紙袋
お墓参りセットが入っています
薬師堂にありました

もう四ヶ月は前のことになるのですが、お寺の中を、コロナ感染症が一周いたしました。

初めは住職で、疲労感と、高熱から始まりました。母親はすぐ薬を処方され、軽く済みました。他の

者は高熱や咳、軽い味覚障害もあつたりして、コロナの怖さをあらためて感じました。おかげさまで、現在はまったく大丈夫です。

インフルエンザ並みの扱いになりましたが、熱の出ない新種も、流行っているようです。みなさまもどうか、引きつづきお気をつけください。



↑ ホームページ



↑ お寺の日常